

科目名	潜水士						年度	2026	
英語科目名	Scuba Diving						学期	後期	
学科・学年	スポーツ健康学科三年制 スポーツインストラクターコース 2年次	必/選	選	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	平川大輔	教員の実務経験		有	実務経験の職種		ダイビングインストラクター		
【科目の目的】 スキューバダイビングのインストラクターなど潜水活動に従事する業務に就く際に必要となる国家資格。潜水に関する労務作業に従事するために取得する事はもちろんのこと、安全に潜水活動を行うための知識を獲得することも目的とする。									
【科目の概要】 ダイビングを職業として考えるのに必要な国家資格である、潜水士取得のための知識を学びます。									
【到達目標】 各種資格（NSCA-CPT・JATI-ATI）合格をめざします。									
【授業の注意点】 テキスト、筆記用具（レポート用紙orルーズリーフ）を必ず用意してください。課題は必ず提出してください。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができません。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	ダイビングを安全に行うための知識を十分理解している		ダイビングを安全に行うための知識を理解している		ダイビングを安全に行うための知識を知っている				
到達目標 B	潜水業務について十分理解している		潜水業務について理解している		潜水業務について知っている				
到達目標 C	送気、潜降及び浮上について十分理解している		送気、潜降及び浮上について理解している		送気、潜降及び浮上について知っている				
到達目標 D	高気圧障害について十分理解している		高気圧障害について理解している		高気圧障害について知っている				
到達目標 E	関係法令について十分理解している		関係法令について理解している		関係法令について知っている				
【教科書】 NSCA 『パーソナルトレーナーのための基礎知識』、日本トレーニング指導者協会 『トレーニング指導者テキスト[理論編・実践編]』									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 試験と課題を総合的に評価します。授業内容の理解度を確認するために課題等を実施します。積極的な授業参加度を評価します。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		潜水士			年度	2026
英語表記		Scuba Diving			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	オリエンテーション	潜水士の資格とは	1 国家資格	国家資格について理解している	3	
			2 潜水士	潜水士について理解している		
			3 資格試験	資格試験について理解している		
5	潜水業務①	潜水業務に関する基礎知識①	1 潜水の歴史	潜水の歴史について理解している	3	
			2 潜水の物理学	潜水の物理学について理解している		
3	潜水業務②	潜水業務に関する基礎知識②	1 潜水の種類	潜水の種類について理解している	3	
			2 潜水業務の管理	潜水業務の管理について理解している		
4	潜水業務③	潜水業務の危険性及び事故発生時の措置①	1 潜水業務の危険性	潜水業務の危険性について理解している	3	
			2 潜水事故の種類と予防法	潜水事故の種類と予防法を理解している		
5	潜水業務④	潜水業務の危険性及び事故発生時の措置②	1 更新設備の確保	更新設備の確保について理解している	3	
			2 緊急の連絡体制の確立	緊急の連絡体制の確立について理解している		
6	潜水業務⑤	ヘルメット式潜水器	1 必要な設備・器具	必要な設備・器具を理解している	3	
			2 設備・器具の取り扱い	設備・器具の取り扱いについて理解している		
			3 設備・器具の点検整備	設備・器具の点検整備について理解している		
7	潜水業務⑥	ブーカー式潜水器	1 必要な設備・器具	必要な設備・器具を理解している	3	
			2 設備・器具の取り扱い	設備・器具の取り扱いについて理解している		
			3 設備・器具の点検整備	設備・器具の点検整備について理解している		
8	潜水業務⑦	マスク式潜水器	1 必要な設備・器具	必要な設備・器具を理解している	3	
			2 設備・器具の取り扱い	設備・器具の取り扱いについて理解している		
			3 設備・器具の点検整備	設備・器具の点検整備について理解している		
9	潜水業務⑧	スクーパ式潜水器	1 必要な設備・器具	必要な設備・器具を理解している	3	
			2 設備・器具の取り扱い	設備・器具の取り扱いについて理解している		
			3 設備・器具の点検整備	設備・器具の点検整備について理解している		
10	潜水業務⑨	その他の潜水設備・器具	1 潜水作業船	潜水作業船について理解している	3	
			2 新しい潜水器	新しい潜水器について理解している		
11	潜水業務⑩	特殊環境での潜水	1 冷水中・高所域・淡水中	3つの環境での潜水について理解している	3	
			2 閉所潜水・無視界	2つの環境での潜水について理解している		
			3 汚水水域・強潮流中	2つの環境での潜水について理解している		
12	送気、潜降及び浮上	潜水業務に必要な送気、潜降及び浮上	1 送気	潜水業務に必要な送気について理解している	3	
			2 潜降	潜水業務に必要な潜降について理解している		
			3 浮上	潜水業務に必要な浮上について理解している		
13	高気圧障害①	潜水による障害①	1 潜水の生理学	潜水の生理学について理解している	3	
			2 潜水による障害及びその対策	潜水による障害及びその対策について理解している		
14	高気圧障害②	潜水による障害②	1 潜水者の健康管理	潜水者の健康管理について理解している	3	
			2 潜水業務に必要な救急処置	潜水業務に必要な救急処置について理解している		
15	関係法令	潜水に関する法令	1 労働安全衛生法	労働安全衛生法について理解している	3	
			2 労働安全衛生規則	労働安全衛生規則について理解している		
			3 高気圧作業安全衛生規則	高気圧作業安全衛生規則について理解している		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等